

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	JACKAL		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.460	ΔRG	0.060	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール		

テストボール：JACKAL

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

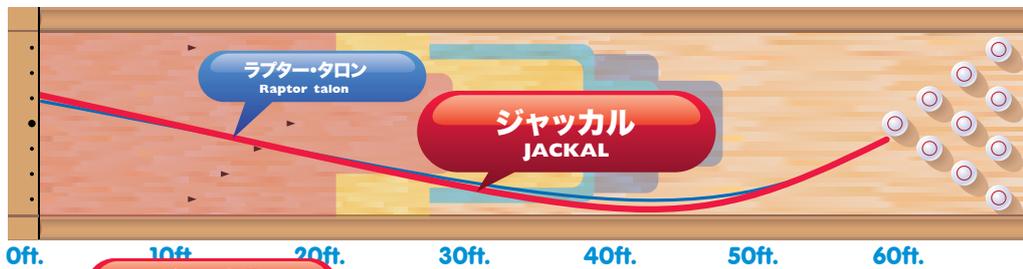
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：raptor talon

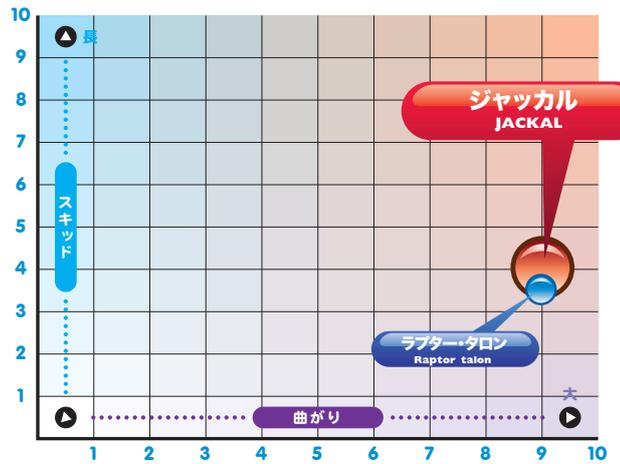
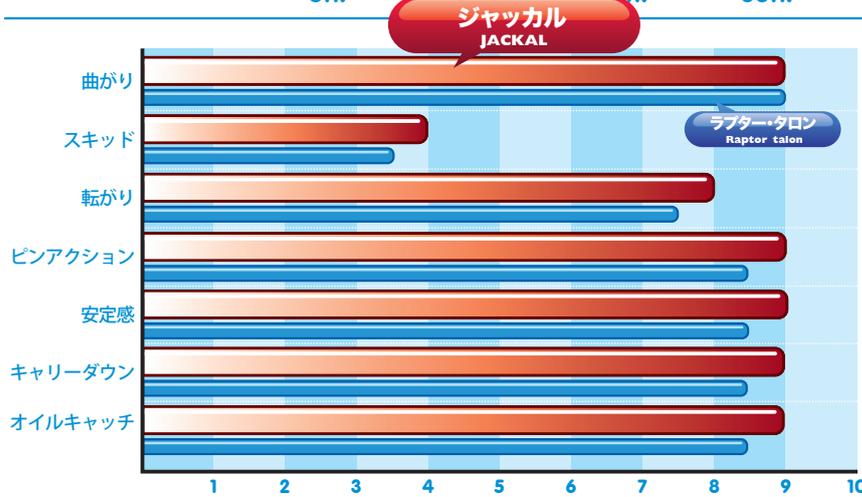
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- パフ



ボールの評価

ABSは50周年を迎えたこの年、「未来」という言葉を託し北岡義典プロ、小泉奈津美プロをMOTIVブランドのキャプテンとし、再始動いたしました。そして今回注目度が高いJACKALが発売されます。

なんとと言っても見逃せないのは「Turmoil HFP」(High Friction Solid) cover stockで、現在も再入荷を繰り返している Covert Revoltと同じカバーストックを搭載してのことです。

基本スペックから考察しようとする、Predator CoreでRG 2.46 ΔRG 0.060、InterDiff0.015、ボックスフィニッシュ3000 Grid LSS(Laser Scan Sanded)となると、かなり手前からフレアを起こし、バックエンドでねじれ過ぎてほどこけて失速しそうなイメージが出そうなんですが、実際投球してみると想像しているよりも強い角があるバックエンドリアクションを感じました。

たしかにボールに付いたフレア幅は5インチを超えるほどですが、しっかりとバックエンドまでエネルギーが残っているテクノロジーには驚かされます。それにチームキャプテンの北岡プロは、MOTIV社の中で一番曲がるボールとして使えるし、先での動きが強く、ピンアクションが柔らかく凄く気に入っていると評価が高く、加藤祐哉プロの投球でも曲がり強く、しっかりと曲がるイメージがあるというコメントを頂きました。なんと北岡プロのように回転数が多く、直進力よりも曲がり強くでるタイプのポウラーにも、加藤プロのようにスピードがあり、しっかりと曲がるボールを好む傾向のポウラーにも気に入って使えるということは、幅広いポウラーに使用して頂ける裏付けでもあり、北岡プロのコメントの中で印象に残った「Revoltと同じぐらい実績を残せるボール」ということも過言ではない性能であると思います。

位置付けとしてはヘビーオイル対応のボールで、Revoltと同じカバーですが1つないしは2つ手前で曲がり始め、先でやや角が出るリアクション性能です。スピードがある方でもきっちり曲がりが出せるでしょう。

特記事項

今度のMOTIV最新作はヘビーオイル対応のJACKAL。Revoltよりキャッチが強く、先で角がでる動きが得られます。